

## 令和 6 年度 循環型社会を実現する環境教育推進事業 事業実績書

# 【学校名】高千穂町立押方小学校

### 1 活動の概要

- 出前授業（講話）を行い、現状と課題について考える時間を設定し、環境問題に対する関心を高めた。
- 環境問題に関する施設見学や体験活動（ゴミ処理場やスーパーの見学、お米づくり体験、委員会活動など）を行い、環境問題について主体的に関わる児童を育成した。
- ESD カレンダーを作成し、本事業のねらいや活動内容についての共通理解を図った。

### 2 SDGs の視点 「12 つくる責任 つかう責任」「15 陸の豊かさも守ろう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和 7年 2月 28日

### 1 学校の概要

本校は、明治 7 年に開校し、本年度に 150 周年を迎えた学校である。豊かな自然に囲まれて、「森の学校」の愛称で親しまれている、児童数 31 名の小規模校である。

本校の教育目標『夢や希望を抱きながら、やさしく、かしこく、たくましく生きる心豊かな児童の育成～子どもの成長を実現し、信頼される学校を目指す「押方小ならではの教育」～』と掲げ、学校と家庭、地域が連携を図りながら、目標の達成を目指して教育活動を展開している。

### 2 活動のねらい

地域や社会の環境問題に関心をもち、よりよい環境づくりに向けて主体的にかかわる心豊かな児童を育成する。

SDGs の視点：

- 「12 つくる責任 つかう責任」
- 「15 陸の豊かさも守ろう」

### 3 活動内容

#### （1）環境問題に関する出前授業（8月）

8月 27 日（火）に、全校児童を対象とした SDGs 講座を開催した。講師には、株

式会社シンク・オブ・アザーズの難波裕扶子氏をお迎えし、環境問題について学んだ。講座では、環境問題に関する資料や写真、動画などを用いて、難波氏から分かりやすく説明があった。児童たちは、初めて見る資料や映像に興味津々で、熱心に話を聞いていた。その後、異学年混合の班に分かれてグループワークを行った。班ごとにテーマを決めて話し合ったり、他の班の意見を聞いたりする中で、様々な考え方につれることができた。講座をきっかけに、環境問題に関心をもつ児童が増えた。また、環境問題について「自分にできることは何か」を考えるよい機会となった。



（2）校外学習（12月）

12月 13 日（金）に、延岡市内の施設を巡る校外学習を行った。午前中は、延岡クリーンセンターとゲン丸館を訪問し、ゴミ処理の仕組みやリサイクルの取組について学んだ。午後は、マルミヤストア松山店

に移動し、お店が取り組んでいる SDGs（持続可能な開発目標）についてお話を伺った。校外学習を通して、ゴミを減らすこと、物を大切に使うこと、工夫して再利用することの大切さに気付かせることができた。



#### (3) お米プロジェクトの実施（年間）

第5学年総合「お米プロジェクト」の学習では、地域の方々と共に「田植え」「稻刈り」「脱穀」「料理」「用水路見学」などの体験活動を行った。体験活動を通して、これまで守り、受け継がれてきた押方の環境や伝統について考え、環境を大切にしようとする態度を養うことができた。



#### (4) 児童による運営委員会を中心とした常時活動（年間）

運営委員会が作成した「SDGsに関するクイズ」を行ったり、「朝のボランティア活動」などを進んで取り組んだりするなど、児童を主体とした常時活動を展開することで、環境問題に主体的にかかわろうとする児童の育成を行った。

#### (5) 広報活動（年間）

上記の具体的な活動は、学校のホームページや学級通信を通じて、子どもたちの活動の様子を積極的に発信した。写真や具体的なエピソードを交えることで、保護者や地域の方々に活動内容をより身近に感じてもらうことができた。

#### (6) ESD カレンダー作成（12月）

高千穂中校区では、共通の取り組みとして ESD カレンダーを作成した。職員研修では、これまで行ってきた活動を Microsoft Teams の共同編集機能を用いてカレンダーにまとめた。作成にあたっては、本町の教育活動の柱である「高千穂 GLOCAL」との関連性を意識した。また、活動内容を「1・2年」「3・4年」「5・6年」「全校」の4項目にし、全学年の活動内容が1枚に収まるようにした。完成したカレンダーは職員室、玄関、各教室などに掲示し、教職員全員が内容を共有できるようにした。



### 4 成果と課題

#### (1) 成果について

- 出前授業（講話）を行い、現状と課題について考える時間を設定することで、環境問題に対する関心を高めることができた。その後の体験活動では、児童が主体となり、環境問題とのつながりを意識した取組を行うことができた。
- ESD カレンダーを作成し、掲示することで、環境問題の指導について教職員の共通理解を図ることができた。

#### (2) 課題について

- 今後も ESD カレンダーを活用しながら、引き続き環境問題について見通しをもちながら指導を行う必要がある。教職員が入れ替わっても、継続して取り組むことができるよう研修を行いたい。

学校名：高千穂町立押方小学校

住 所：西臼杵郡高千穂町大字押方561番地1

電話番号：(0982) 72-2239

E-mail：1802ec@miyazaki-c.ed.jp